

令和6年度 学校評価 幼稚園結果

令和7年3月末 学校教育課まとめ

No.	幼稚園名	今年度重点目標	学校自己評価結果					学校関係者評価			表示以外の評価「分野」		
			項目数	No.	分野	重点目標	評価項目・取組状況	達成状況	改善方針	評価項目		実施方法	総合
1	宮川幼稚園	(1)教育課程の推進 (2)幼児期から小学校期への円滑な接続の推進 (3)地域と連携した豊かな保育や子育て支援	2	2	地域連携	3	<p>○地域のさまざまな方に見守られ、支えられて生活していることを実感できるように芦屋の町の美しさや人の温かさを感じられる保育を展開してきた。年間を通してアクションプログラムの方と共に手話歌を園全体で取り組んできたことで、芦屋の町がより好きになり、感謝する気持ちももてるようになった。</p> <p>○浜町自治会の方やこども会・卒園生と一緒に千羽鶴をつくり、近隣の小中学校や未就学施設の慰霊碑にたむけにいく過程で命の大切さを学んだ。</p>	A	<p>○地域とのかかわりを年間を通して重ねていくことでより親しみをもち、子どもたちや保護者の方の視野が広がっていくようにする。</p> <p>○地域のイベントへの参加、園として協力できること・発信できることを模索していく。</p>	<p>○地域との新たなかかわりが生まれ互いにより相乗効果がでている。</p> <p>○宮川幼稚園が地域の拠点となっている。来年度以降も連携をし、この町に暮らしているよかったですと思えるように互いに努めていく。</p>	<p>○評議員会及び学校関係者や評価委員会を対面で行った。</p> <p>○保育の様子を参観いただく。</p> <p>○保護者アンケートを実施、集約して保護者へ周知している。</p> <p>○学校評価アンケートの結果や日々の生活を可視化し、評価を受ける。</p>	<p>○一人一人を大切に受け止めて教育・保育をしている。少人数ならではのよさという反面、園児数が減っていくことが残念である。</p> <p>○実体験をもとにICTを活用した将来を見据えた保育実践を評価する。とくに年長児の発信する力がついている。子どもたちの今後が楽しみである。</p>	教育課程
2	岩園幼稚園	(1)発達段階を考慮し幼児が主体的に遊ぶ環境について考える (2)一人一人の幼児が自己発揮できるための指導の在り方について考える (3)地域に開かれた幼稚園づくりを進める	4	1	教育課程指導	1	<p>○幼児の発達や遊び、興味・関心に応じた遊具、用具、素材等を準備する。</p> <p>○幼児が必要と感じた時にタイミングよく遊具、用具、素材等を準備する。</p> <p>○幼児が心をときめかせて遊びに向かう環境作りをする。</p>	A	<p>週に1度、幼児の姿を振り返り、幼児の興味関心に基づいた遊びができるように環境構成について話し合ってきた。幼児の興味に合わせた保育準備をしたことで遊びが深まってきた。また、大学から講師を招き、保育について助言をいただいた。</p>	<p>○幼児の興味に沿って環境を見直し、用意しているところが素晴らしい。</p> <p>○幼児の意欲を育てていくことが伝わってきた。</p> <p>○自分のしたいことを存分にできることで粘り強さが育っているように思う。</p>	<p>○岩幼だよりやクラスだより、実践報告などからも幼児の様子を伝えることで、園生活がよくなった。</p> <p>○保護者の意見を聞く機会としていいのではないかと。</p>	<p>重点目標に対しての取組は適切になされ、次年度に向けての改善方針も考えられている。</p>	保護者・地域住民との連携 子育て支援
3	小槌幼稚園	(1)心豊かに感じ、共に育ち合う幼児を育むための教育の推進 (2)一人一人に寄り添った教育の推進 (3)幼稚園や地域の特性を生かした子育て支援の実施	2	2	子育て支援	3	<p>○毎日のブログや園だより、写真掲示などを通して、幼稚園教育内容の発信に努めた。</p> <p>○参観日の後の保護者会では、子どもの姿を感じたことや褒めるポイントなどを「心わくわくシート」を用いて、意見交流をする場を設けた。自分の子どもだけでなく、クラスの子の成長や育ちつつある姿を互いに共有できる場として年間を通して行った。</p> <p>○木育活動、絵本の読み聞かせ、英語、サッカー教室等、園の行事を園庭開放や子育てサークル、子育てひろばと重ね、未就園児が在園児と関わって遊ぶことを通じて、園を身近に感じ一緒に遊びを楽しめるように工夫した。</p>	B	<p>○幼稚園教育を分かりやすく発信する工夫をし、園と家庭とが連携がとれるように努めていく。</p> <p>○今後も地域の未就園児とその保護者が幼稚園を身近に感じ、親しみが持てるように、園の行事と重ね参加を呼び掛けるなど、発信をしていく。</p>	<p>地域に開かれた幼稚園として、他の就学前施設と連携したり未就園児も園の行事に参加できるように保育を行い、カリキュラムを工夫している。今後も特色ある園づくりを続けてほしい。</p>	<p>○教育評価に関する保護者アンケートを実施、集約し、保護者に周知した。</p> <p>○重点目標に対しての取り組みは適切になされている。</p>	<p>保護者の教育評価は具体的に丁寧を実施されており、園における教育活動の取り組みは良好である。今後も、家庭や地域との連携を大切に、園の特徴を活かしながら、教育活動や内容を考え、工夫していくことを期待する。</p>	教育課程

4	西山幼稚園	(1)響き合う仲間を育むための教育の推進 (2)心豊かな幼児を育む地域との連携の研究 (3)子育て支援活動の充実	2	1 教育課程	1・2	A	<p>○響き合う仲間を育むための教育の推進 友達と思いを出し合い、互いに認め合えるような保育を進めてきた。竹馬やコマ回し等、目標をもち友達と粘り強く頑張る、達成感を味わえる経験になった。 ○心豊かなサークルにより幼児の「学びに向かう力」を読み取り研究を進め幼児理解につながった。 ○小中学校・保育園、こども園と計画的に交流をもった。地域の方に行事に参加していただき、人と関わる楽しさや親しみの気持ちをもった。</p>	<p>○一人一人の内面理解を深め、友達と協力し、認め合い、響き合うことのできる保育を工夫していく。 ○異年齢活動を計画を進め、幼児の育ちにつながるようにする。 ○幼小中での連携について、教員の連携や研究を深めていく。地域の保育園、子ども園との連携についても、幼児の成長に生かせるよう計画し、交流を深める。</p>	<p>○幼児が、自分の思いをしっかりと表現できている。先生が一人一人を丁寧に見て育ちにつなげており、少人数のよさを感じる。 ○城山登山やモリアオガエルの卵からの飼育など、豊かな自然環境を生かした西山ならではの保育をしている。 ○地域の保育園こども園との交流は、園児にとっても地域にとってもプラスだった。これからは地域の学校園のつながりを大切にしていきたい。</p>	<p>園の教育目標、重点目標から評価項目を選び、保護者対象の教育評価アンケートと教職員対象の自己評価が適切に実施されている。</p>	<p>教育活動の取り組みや教育評価は良好である。今後も、家庭や小中、地域との連携に努め、安心して幼児が過ごせる幼稚園となるよう、教育内容や子育て支援の推進、情報発信の方法の画策を期待する。</p>	子育て支援
5	潮見幼稚園	(1)健やかな心と体の育成 (2)環境を生かした園経営 (3)開かれた幼稚園づくり(子育て支援)	4	4 園経営	4	A	<p>○「さんさんひろば」「園庭開放」自主グループ「くれよん」幼稚園で遊ぶ会」を毎週実施した。(週4回) ○リズム、英語で遊ぶなどとコラボし、未就園児親子に喜ばれている。子育て相談を受けることもある。</p>	<p>今後も未就園児親子の居場所作りをし、垣根の低い、開かれた幼稚園づくりを目指す。子育て相談を受けるなど、センター的役割を果たす。</p>	<p>未就園児親子にとって、様々な体験ができる環境と、遊びに來やすい雰囲気があり、園児数増加の要因では。今後、子育て支援に力を入れ、開かれた幼稚園づくりをしていってほしい。</p>	<p>○学校評議員会を3回開催し、教育の取り組みを写真や動画で紹介し、意見をいただく。 ○日々の保育内容や取り組みをブログや園だよりで発信している。 ○保護者アンケートの結果を集約し、保護者と評議員に周知している。職員アンケートの結果は評議員に伝えている。 ○運動会や生活発表会など参観してもらおう。</p>	<p>様々な体験ができる取り組みが素晴らしい。主体性を大事にし、自分で考え行動する力を育てている。今大事にしている保育内容を、これからも続けてほしい。保護者の評価が高いのは、子どもの姿にあらわれている。</p>	教育課程